電子掲示板・チャット②　「情報モラル」学習指導案

１．本時の目標

　・電子掲示板やチャットの「読み手」としての注意事項やマナーについて考える。

　・トラブルにあったときの対処方法を知る。

２．本時の展開（２５分）

学習活動	主な発問と指導・支援	指導上の留意点・資料
1　電子掲示板やチャットの「読み手」としてよい点は何でしょうか。	・電子掲示板やチャットを「読み手」として利用してよかった，助かった点を挙げよう。	・グループで話し合わせてもよい。 ・好きなテーマについて，いろいろな他人の意見を知る，新しい情報を知ることができる（多様性），チャットはリアルタイムで交流できることに気づかせる。 ・匿名だから，誰がどんな立場でどんな視点で意見を書いているかわからないから，正しい情報かどうか疑わしい，質問などに安易に答える（コメント）と誤解を招くこと，実名やメールアドレスを公開されて誹謗 ・中傷されることに気づかせる。 ・ネット上の情報は，匿名の人がつくったものであることを認識して，常にその信憑性を確認すること，また確認方法として，書籍など別の媒体を利用することに気づかせる。 ・直ちに電子掲示板の管理人に削除を依頼する，悪質なときは警察に相談することを知らせる。
2　電子掲示板やチャットの「読み手」として困ったり，不愉快に思った点は何でしょうか。	・電子掲示板やチャットを「読み手」として利用して困ったり，不愉快に思った点を挙げよう。	
3「読み手」としての注意事項やマナーをまとめよう。	・「読み手」として，どんなことに注意して，電子掲示板やチャットを利用すべきかを考えよう。 ・正しい情報であることを確認するには，どんな方法がありますか。	
4　トラブルにあったときの対処方法を考える。	・実名やメールアドレスなどを公開されて，誹謗・中傷の書き込みをされたらどうしますか。	

３．評価

　電子掲示板やチャットの「読み手」としての注意事項やマナーを考えることができたか。

　また，トラブルにあったときの対処方法を知ったか。

４．板書計画

・電子掲示板やチャットの「読み手」としてのよい点は,

・好きなテーマを選ぶことができる。　・いろいろな人の意見を知ることができる。
・新しい情報を知ることができる。
・チャットについてはリアルタイムで交流できる。

・電子掲示板やチャットの「読み手」として困ったり，不愉快に思った点は,

・誰がどんな立場でどんな視点で意見を書いているのかわからない。
・正しい情報と言えるか疑わしい。新しい情報と言えるか疑わしい。
・質問などに安易に答える（コメント）ことで誤解を招きやすい。

・「読み手」としての注意事項やマナーは,

①ネット上の情報は匿名であるから，常にその信憑性を確認すること。
②確認する方法として，書籍など別の媒体を利用する，より多くの情報を集める，
　別の面から情報を調べる。

・実名やメールアドレスを公開されて誹謗・中傷の書き込みをされたら,

①直ちにその電子掲示板の管理人（サイトには必ずある）に削除の依頼をする。
②無視をする。応じない。また，内容が悪質なときは，相手を名誉毀損などの罪に問うことができるので，警察に相談にする。

開設電子掲示板・開設チャットを荒らされた時は(ホームページ開設者へ)

　あなたの開設している電子掲示板やチャットに、匿名で連続して同じ発言を書き込まれたり、アダルト画像などを貼り付けられたり、不要なリンクを張られたりした場合は、以下のような手段をとりましょう。

解決策
・問題のある発言を黙って削除し、反応しない。(感情的に反論してはいけない)
・書き込んだ人の IP アドレス等を記録し、相手が使っているプロバイダーの管理者に知らせる。
・さらにひどい時は、警察に相談する

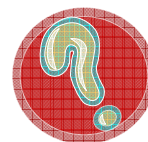
　ここで間違えてはいけないことは、「ただの荒らし」と「あなたを批判する行為」 はきちんと区別することです。

　掲示板を荒らす行為は、掲示板に以下のような設定をしておけば、大半のものが防げます。参考にしてください。

対策
・html のタグの使用／画像貼り付けを禁止する。
・連続した書き込みを制限する。
・禁止用語(死ね！など)を制限する。
・警察に相談する。

ワークシート　　　　　　　　　　年　　組　　番　名前

「読み手」としてよい点は・・・	「読み手」として困ったり，不愉快に思った点は・・・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

ネット上の情報は正しいのでしょうか？

電子掲示板やチャットの「読み手」としての注意事項やマナーは，

①

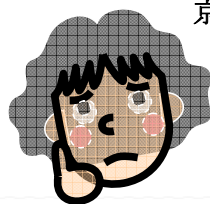
②

実名やメールアドレスを公開されて誹謗・中傷の書き込みをされたら，

①

②

京都府警察本部ハイテク犯罪相談窓口　０７５－４１４－０１１０

http://www.pref.kyoto.jp/fukei/

迷惑メール対策として，指定したアドレス以外からのメール受信を拒否できます。
ケータイは本体から簡単に設定が可能ですが，機種によって設定の方法が異なるので，詳しくは取扱説明書を参照にするか，各社のホームページ，またはお客様センターなどに問い合わせてください。